

フェニックス事業用地
(尼崎市東海岸町沖地区)
A-1ブロック・A-2ブロック
進出事業者募集要領に係る参考資料

土地の状況について

令和元年8月

兵 庫 県

※ 地盤状況、埋存物等については、極力データ等を開示し記載しておりますが、現況と相違している場合は、現況が優先します。

目 次

土地の状況について	1
○実測平面図	別紙1
○代表箇所標準断面図1	別紙2-1
○代表箇所標準断面図2	別紙2-2
○旧防波堤・西側護岸位置図	別紙3
○旧防波堤断面図	別紙4
【A-1ブロック】	
○現況平面図	別紙5-1
○現況縦断面図	別紙5-2、5-3
【A-2ブロック】	
○現況平面図	別紙6-1
○現況縦断面図	別紙6-2、6-3

土地の状況について

1 概要

フェニックス事業用地(東海岸町沖地区)は、兵庫県が昭和62年10月に公有水面埋立免許を取得し、平成2年1月から大阪湾圏域広域処理場整備事業(大阪湾フェニックス計画)に基づき、大阪湾広域臨海環境整備センターが事業主体となって、陸上残土、浚渫土砂、廃棄物を埋め立てて造成している事業用地です。現在、計画受入量の約98%を完了し、覆土工事を進めています。

本分譲地は、公有水面埋立事業で造成している区域のうち、平成21年度に埋立竣工した土地です。土地利用に際して施設等を建設される場合は、土地調査等を実施し、施設等の内容や規模に合わせた基礎構造物の施工に配慮してください。

2 地盤の高さ

本分譲地の地盤高さは、平成31年2月時点でD.L. +4.56~+5.40m(T.P. +3.66~+4.50m)であることを確認していますが、地盤改良工事を行っておらず、今後も圧密沈下が継続する見込みです。

3 地盤の状況

埋立造成事業では、海底地盤上に15~20m程度の厚さの埋立を行っています。

本分譲地付近の海底地盤の土質構成は、粘土を主体とした15~20m程度の沖積粘土層と、その下部の砂礫や砂を主体とした洪積層で構成されています。

4 埋立用材

本分譲地の埋立用材には、陸上残土、浚渫土砂、安定型の産業廃棄物(廃プラスチック類・ゴムくず、金属くず・ガラスくず及び陶磁器くず、がれき類)を使用しています。がれき類には、阪神・淡路大震災による震災瓦礫(小割コンクリートガラ:最大径概ね30cm以下)を含みます。

各埋立用材については、大阪湾広域臨海環境整備センターで受入基準を設けており、埋立時点における受入基準を満たしています。

また、建築物等の基礎工事施工に当たり、埋め立てられた産業廃棄物が掘り出された場合は、改めて掘り出した者が産業廃棄物として適正に処理する必要があります。

5 土壌汚染対策法(平成14年法律第53号)に係る届出

3,000平方メートル以上の土地の形質の変更をしようとする場合は、30日前までに土壌汚染対策法に係る届出が必要となります。

6 地中残存物等

本分譲地内の地中には、別紙3のとおり、次の構造物が残っています。

旧防波堤、西側護岸

7 地盤の液状化

本分譲地は埋立地であることから、液状化の可能性があります。

8 南海トラフ巨大地震による県独自の津波想定

(1) 想定地震及び計算条件

想定地震		計算条件
内閣府「南海トラフの巨大地震モデル検討会」公表（H24.8.29）の想定地震	規模 M9.1	○門扉は開放（自動閉鎖及び常時閉鎖しているものを除く）。 ○防潮堤等は津波が越流した場合に破堤。

(2) 想定最高津波水位と分譲地等の地盤高さ

尼崎市における想定最高津波水位	D. L. +4.90m (T. P. +4.00m)
本分譲地の地盤高さ	D. L. +4.56～+5.40m (T. P. +3.66～+4.50m) (平成31年2月時点)
(参考) 公共ふ頭用地の地盤高さ	D. L. +3.60m (岸壁) ～+5.10m (ふ頭用地) (T. P. +2.70m (岸壁) ～+4.20m (ふ頭用地))

※ 液状化等による地盤の沈下は考慮していません。

※ D. L. ± 0m = T. P. - 0.90mで、換算することができます。

9 高潮対策

大阪湾港湾等における高潮対策検討委員会（尼崎西宮芦屋港部会）の検討結果を踏まえて、高波条件等を見直した上で護岸の必要高さを算出し、今回進出者を募集する区画について、令和元年度中に護岸の嵩上げを行います。

護岸高

ブロック	現況（H28.12時点）	竣工時の計画高
A-1	5.86m	6.10m
B-1	7.31m	7.60m

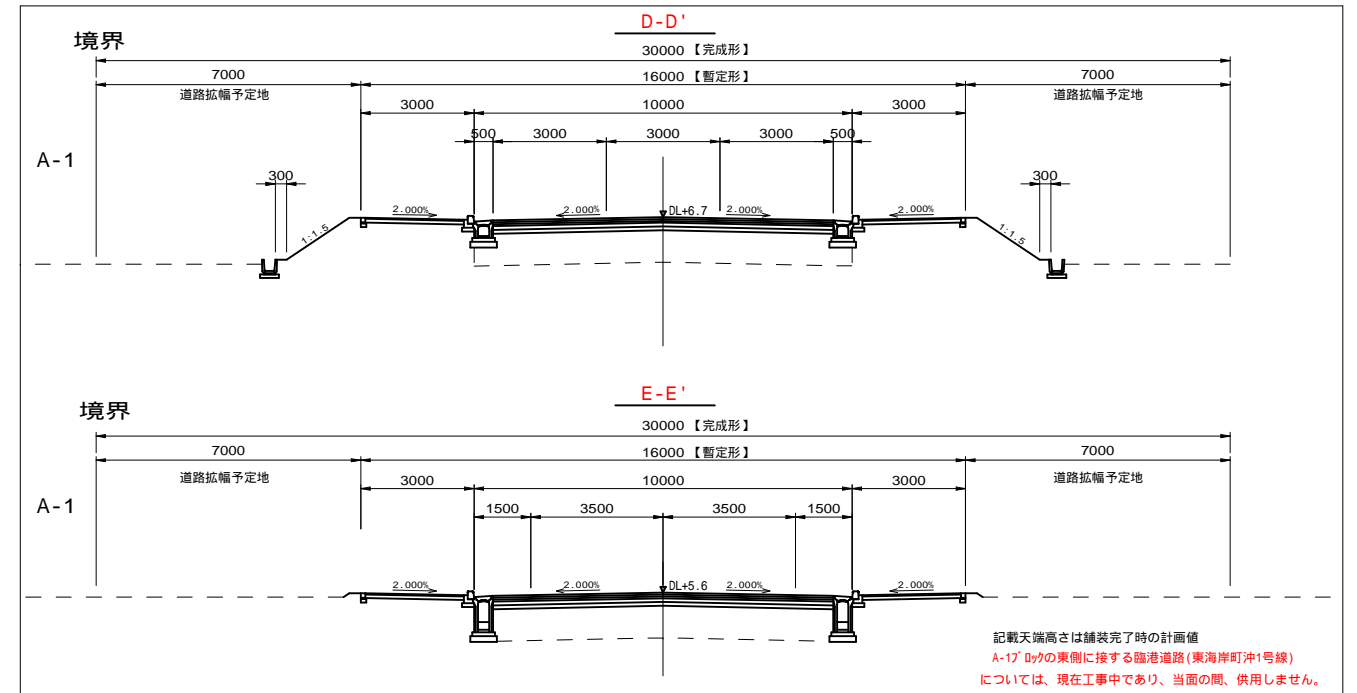
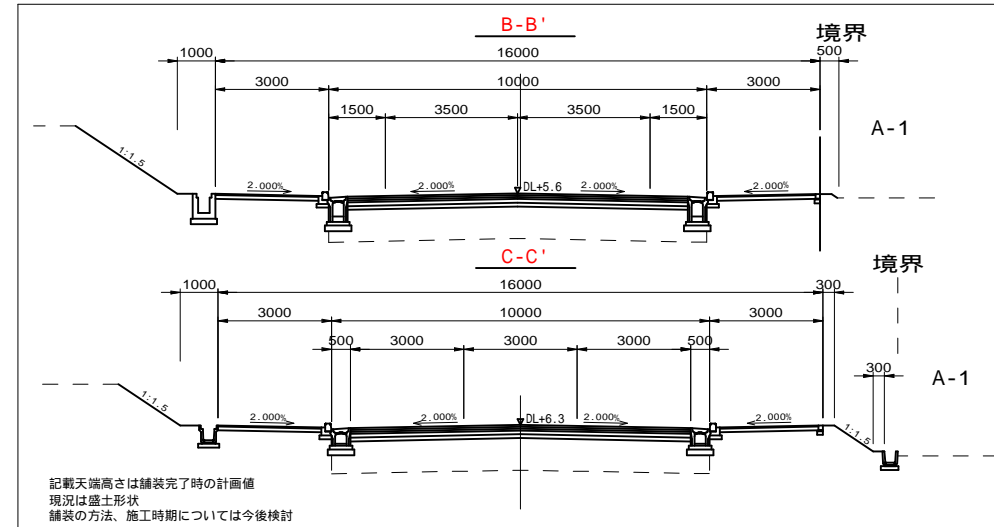
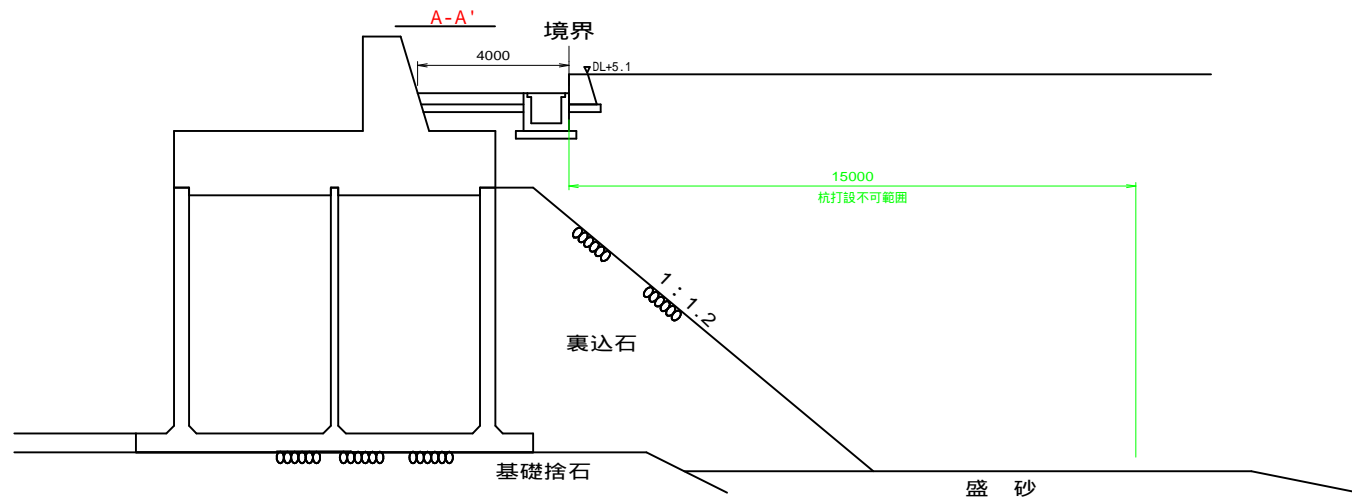
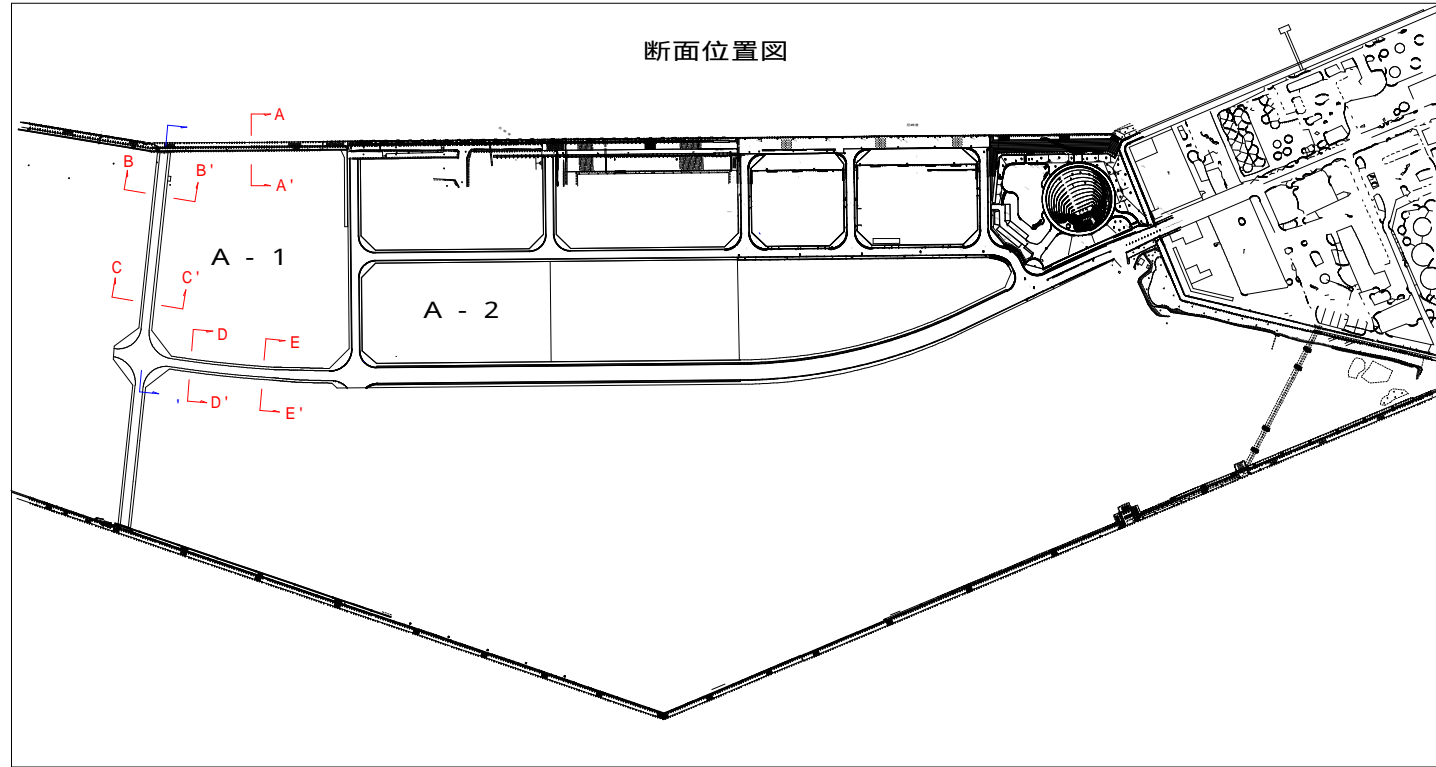


実測平面図			
事業名			
標立地の位置	沼西市東海岸町地先		
図面名称	実測平面図		
縮尺	1/4,000	図番	/
兵庫 県			

代表箇所標準断面図 1

(A3版 S=1:200)

本図面は全て参考図であり、正確な現況の高低差を表したものではありません。
 形状寸法などは設置当時（未施工は計画）のものであり、現況と相違している場合があります。
 その場合は現況が優先されます。



V=1:200, H=1:1000

線形長255m

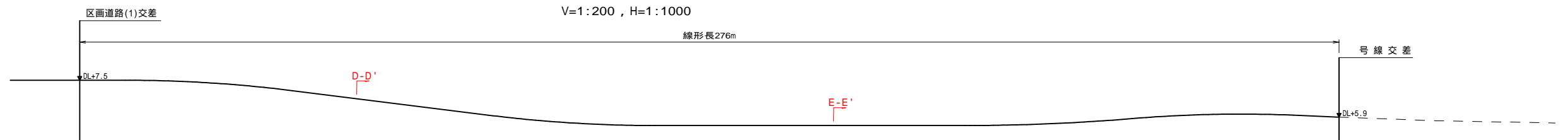
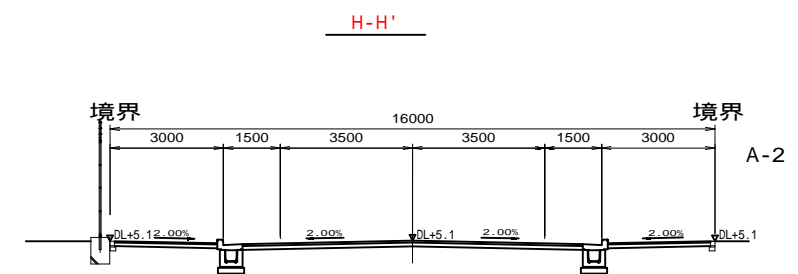
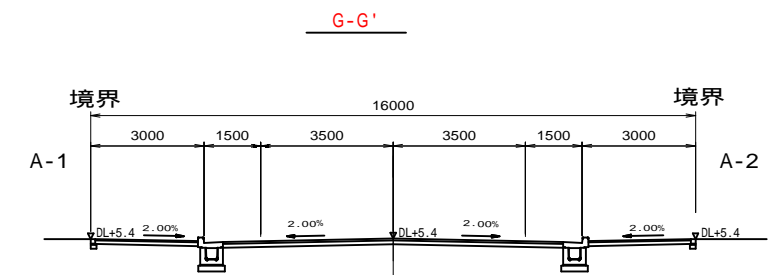
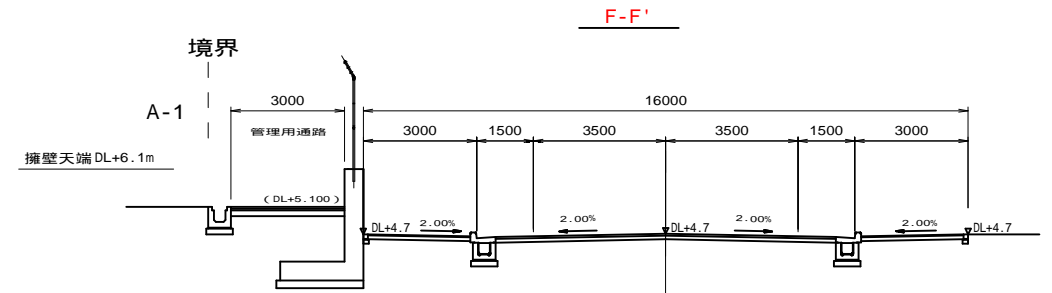
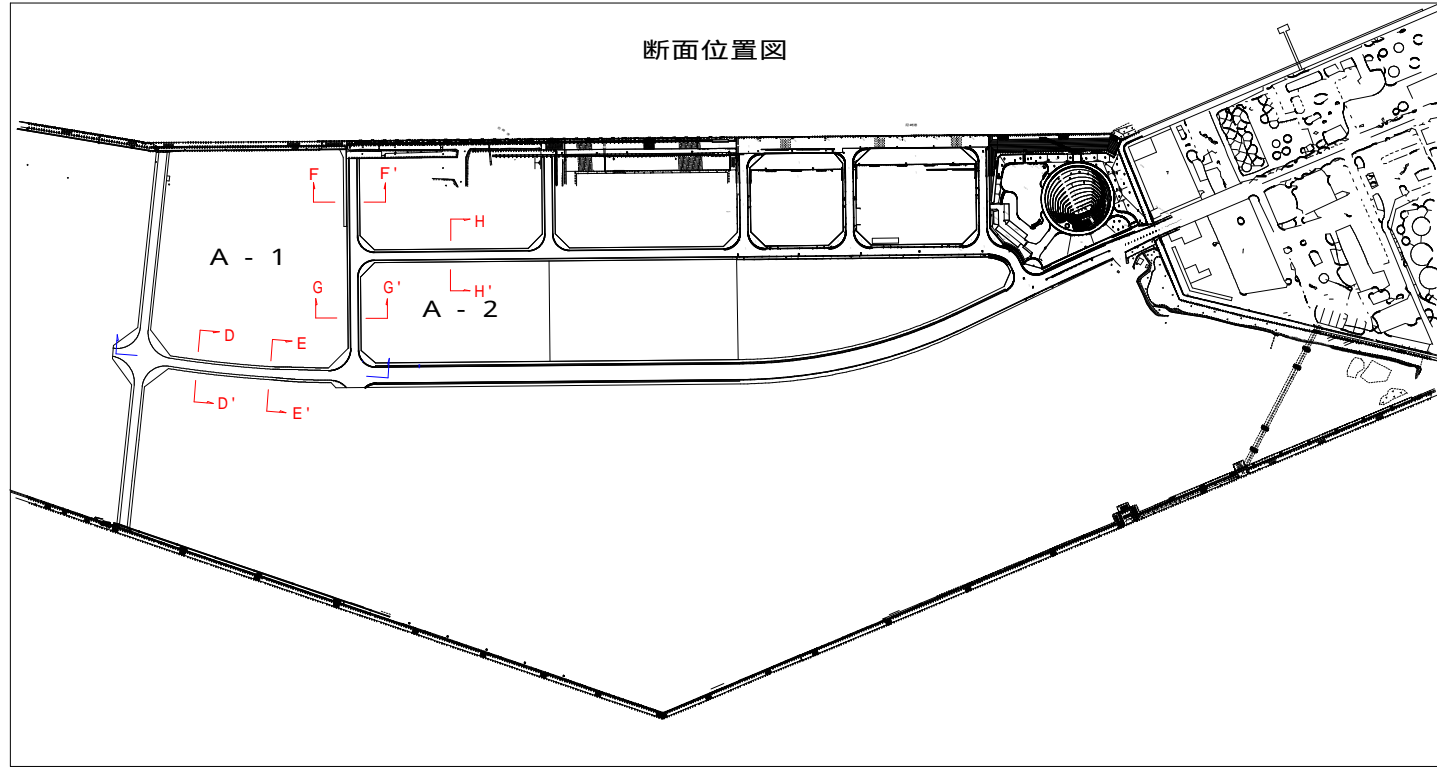
計	画	高
5.620	5.620	5.620
5.620	5.620	5.620
5.620	5.620	5.620
5.620	5.620	5.620
5.620	5.620	5.620
5.620	5.620	5.620
5.620	5.620	5.620
5.620	5.620	5.620
5.620	5.620	5.620
5.666	5.707	5.925
6.323	6.722	7.121
7.520	7.520	7.520

号線(延伸部)交差 DL+7.5
 記載天端高さは舗装完了時の計画値

代表箇所標準断面図 2

(A3版 S=1:200)

本図面は全て参考図であり、正確な現況の高低差を表したものではありません。
 形状寸法などは設置当時（未施工は計画）のものであり、現況と相違している場合があります。
 その場合は現況が優先されます。



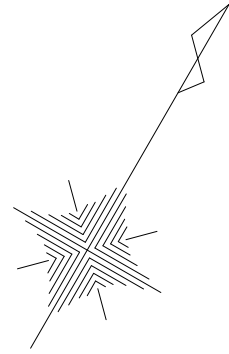
V=1:200, H=1:1000

線形長276m

計画高	7.520	7.520	7.494	7.411	7.230	6.745	6.245	5.801	5.729	5.622	5.620	5.620	5.620	5.657	5.692	5.869	6.087	6.022	5.989	5.970
-----	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

記載天端高さは舗装完了時の計画値

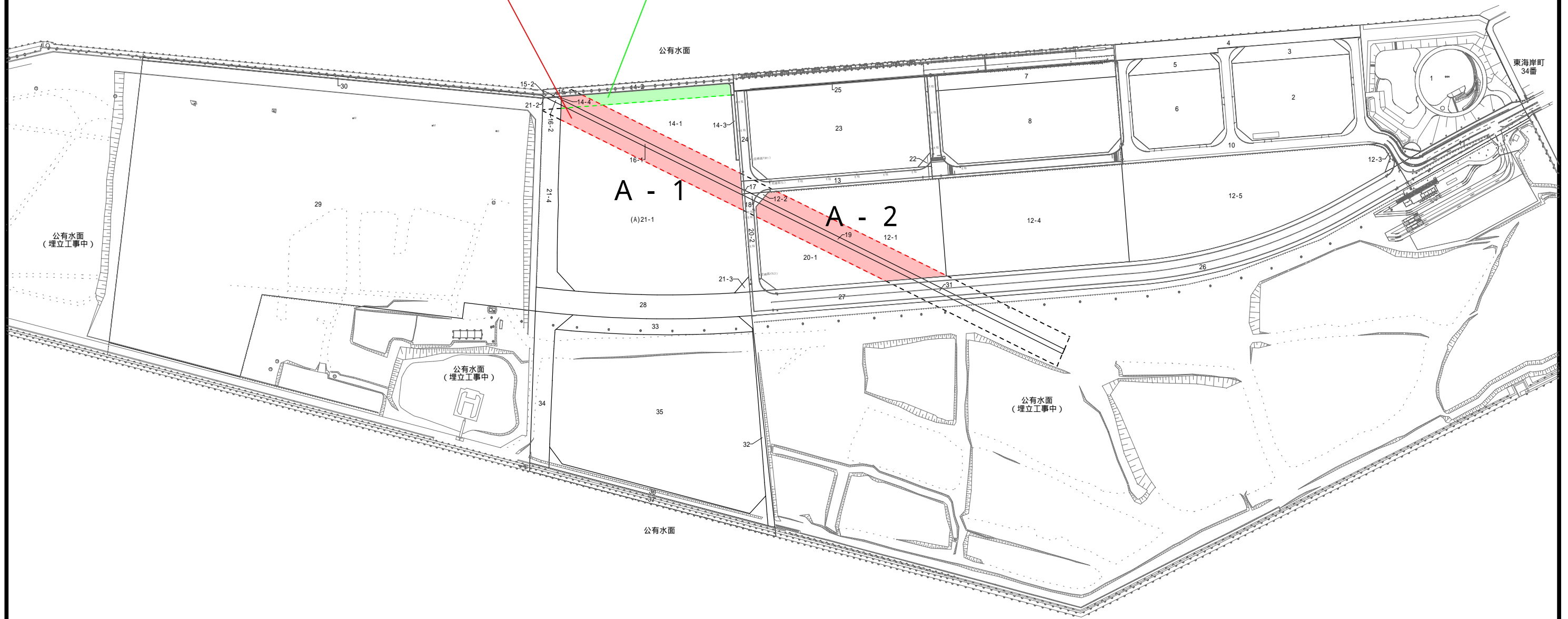
旧防波堤・西側護岸位置図



縮尺 1 : 5 0 0 0

旧防波堤敷 (旧防波堤断面は別紙4参照)

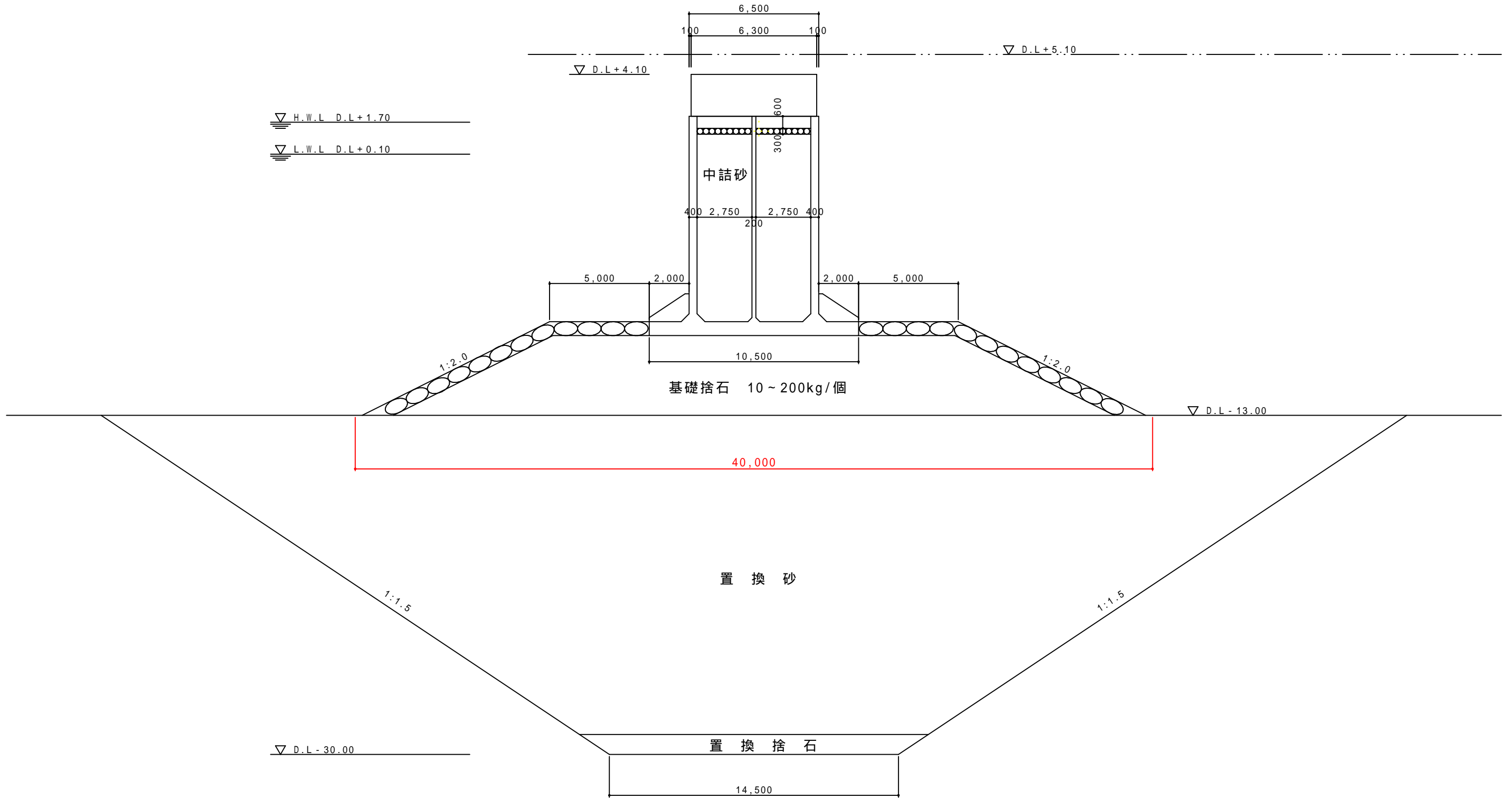
西側護岸敷 (西側護岸断面は別紙2-1参照)

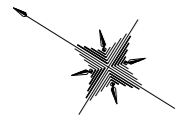


旧防波堤断面図

S=1:200 (A3版)

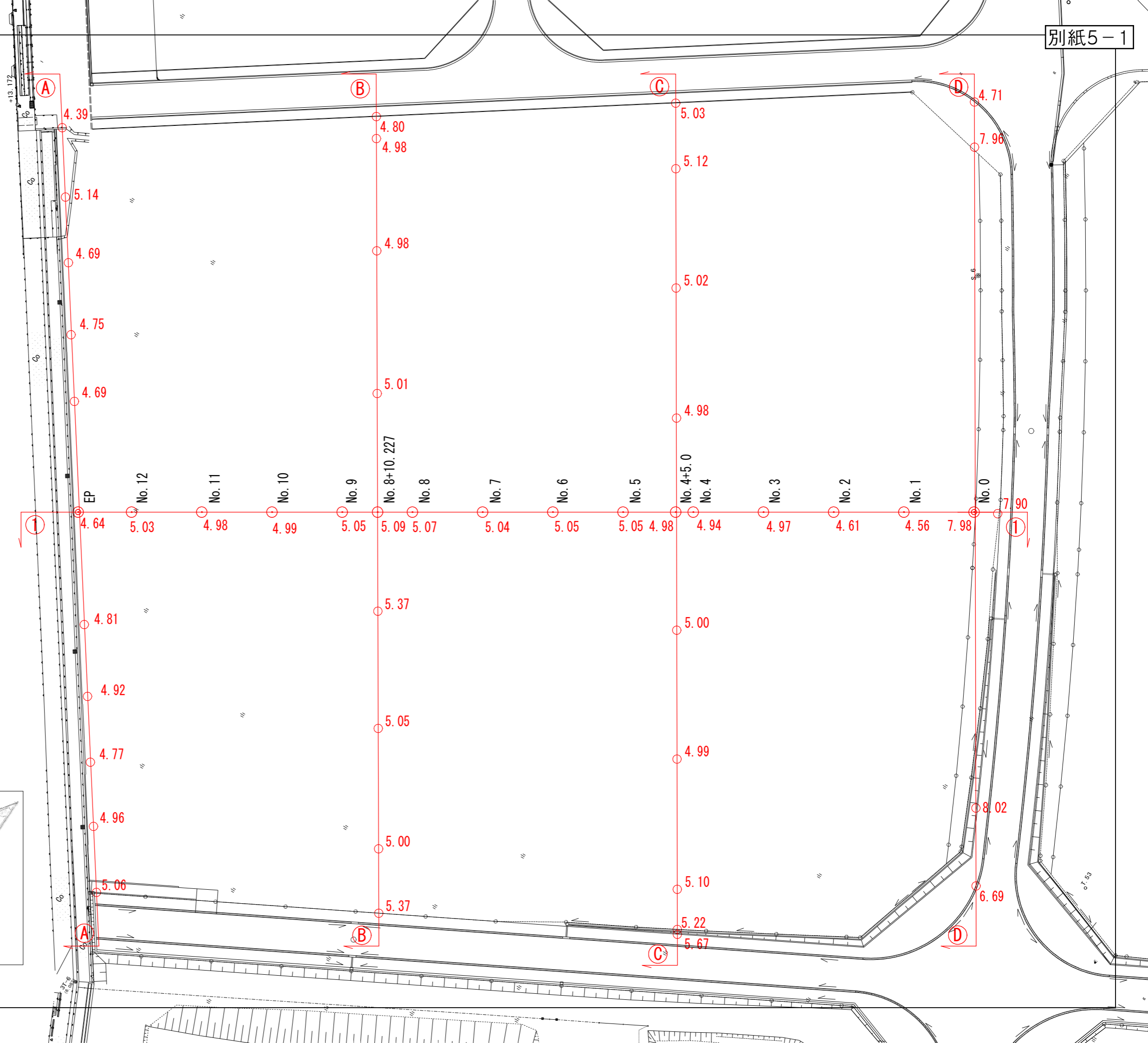
(出典:昭和60年埋立免許図書添付図面より)



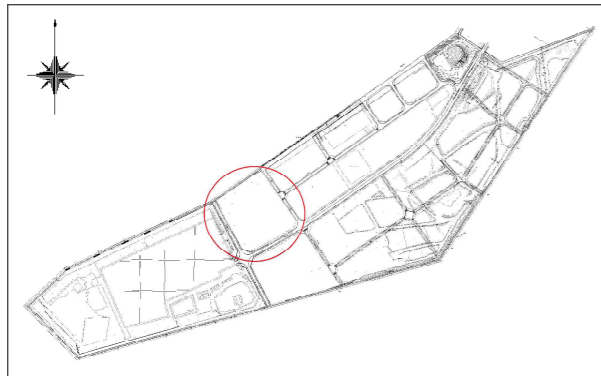


現況平面図
(A-17°ロック)

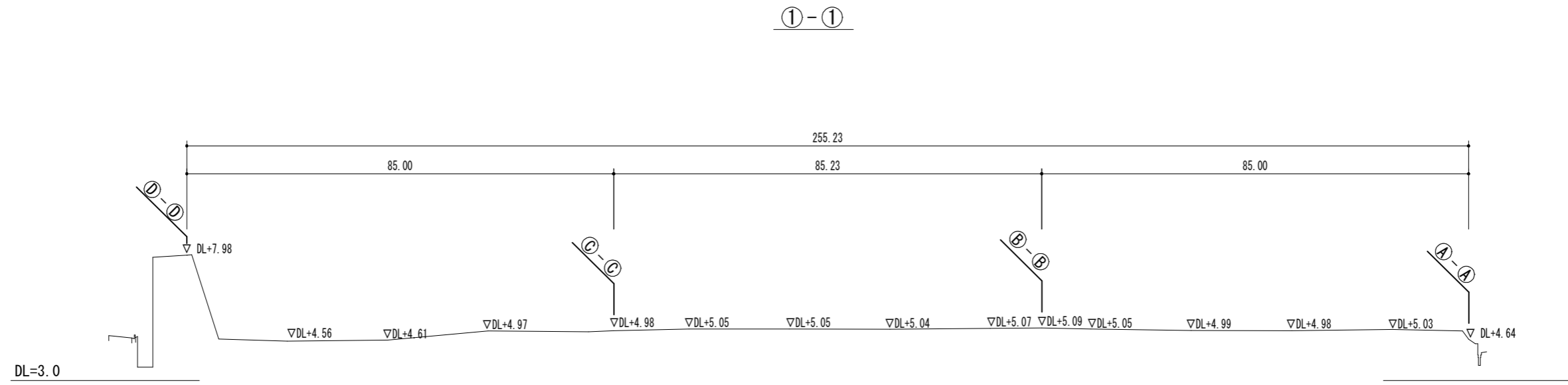
S=1 : 1000



位置図

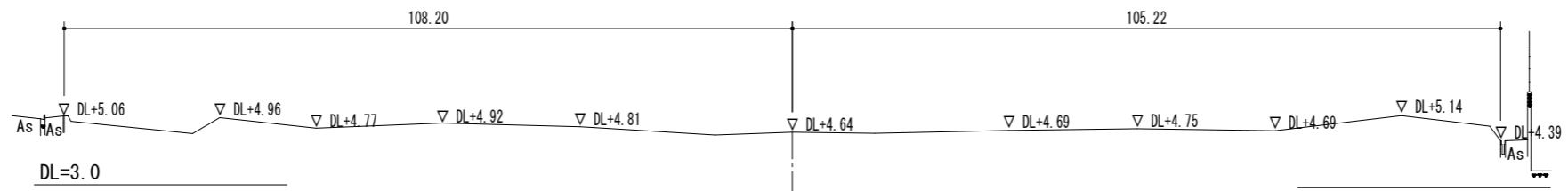


現況縦断図
(A-17ノック) V=1:200
H=1:1000

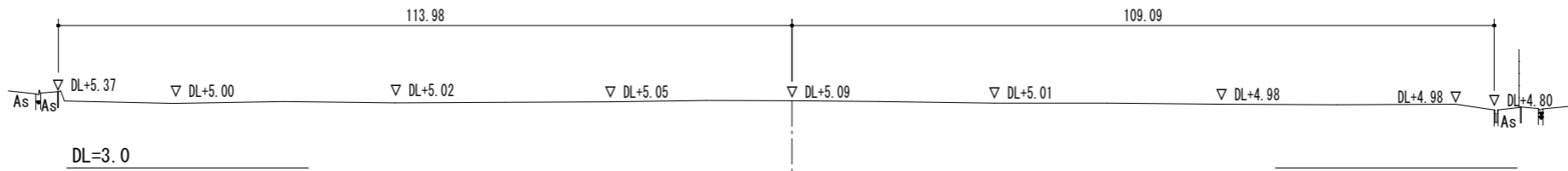


現況横断図
(A-1ブロック) V=1:200
H=1:1000

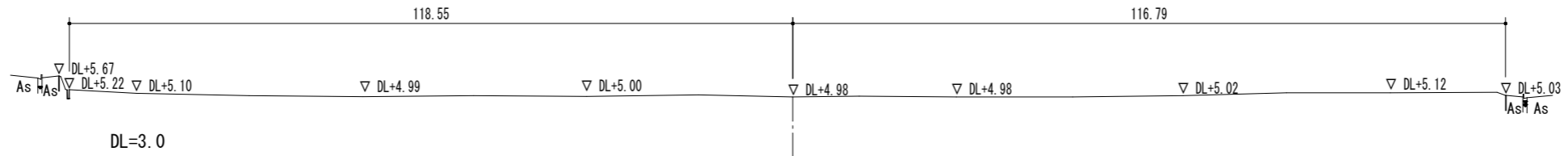
Ⓐ-Ⓐ



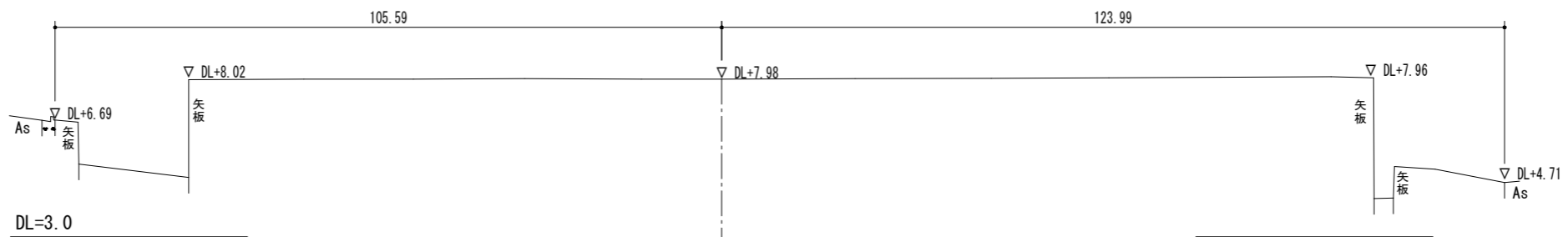
Ⓑ-Ⓑ

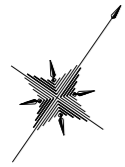


Ⓒ-Ⓒ



Ⓓ-Ⓓ

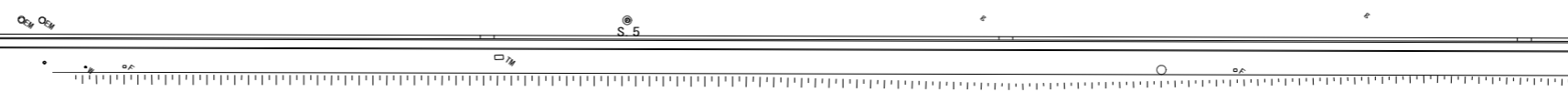
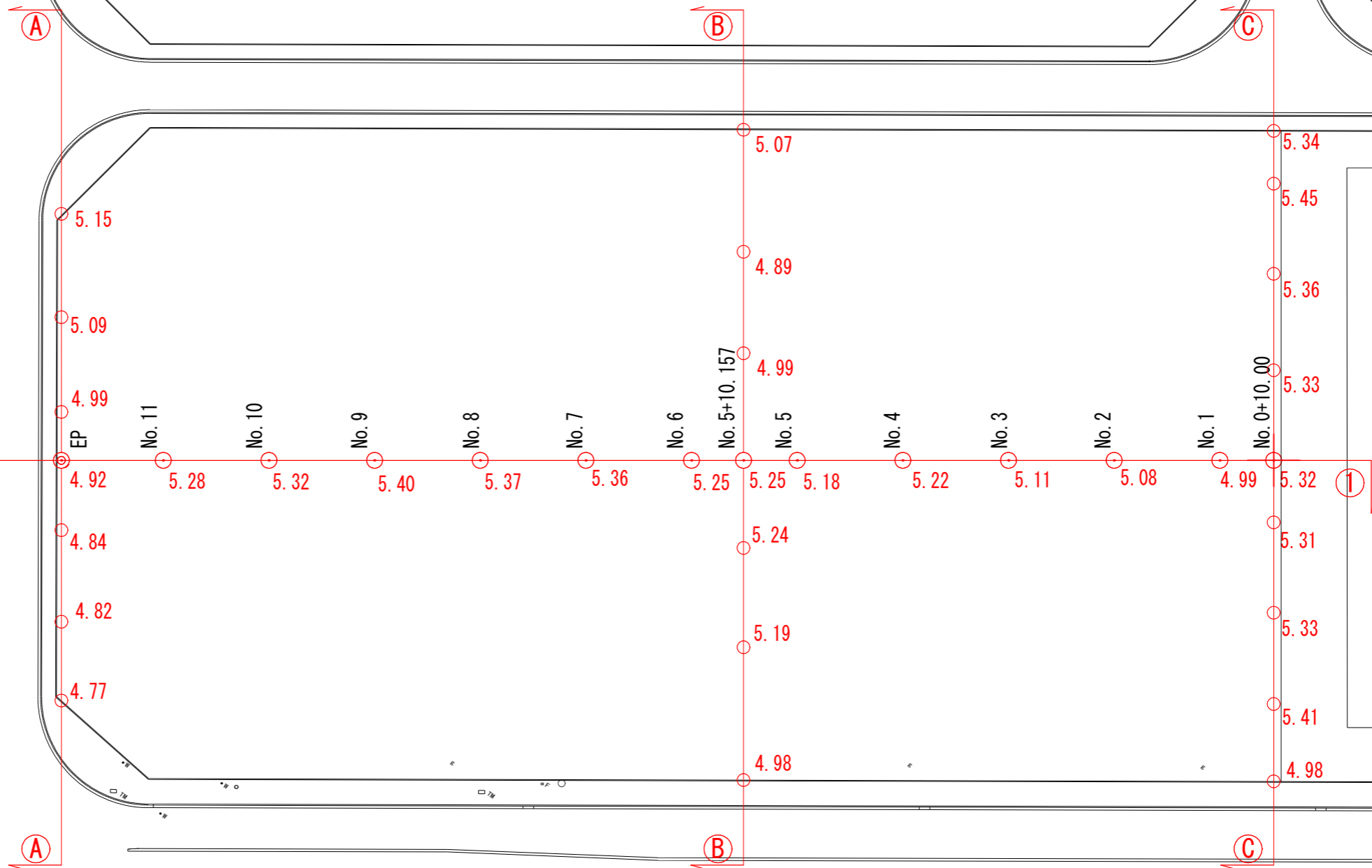
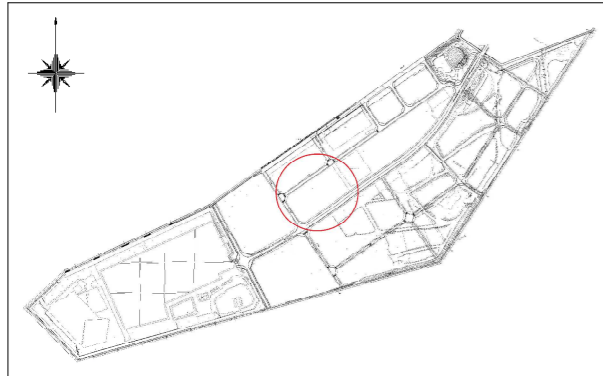




現況平面図
(A-2ﾌﾞﾛｯｸ)

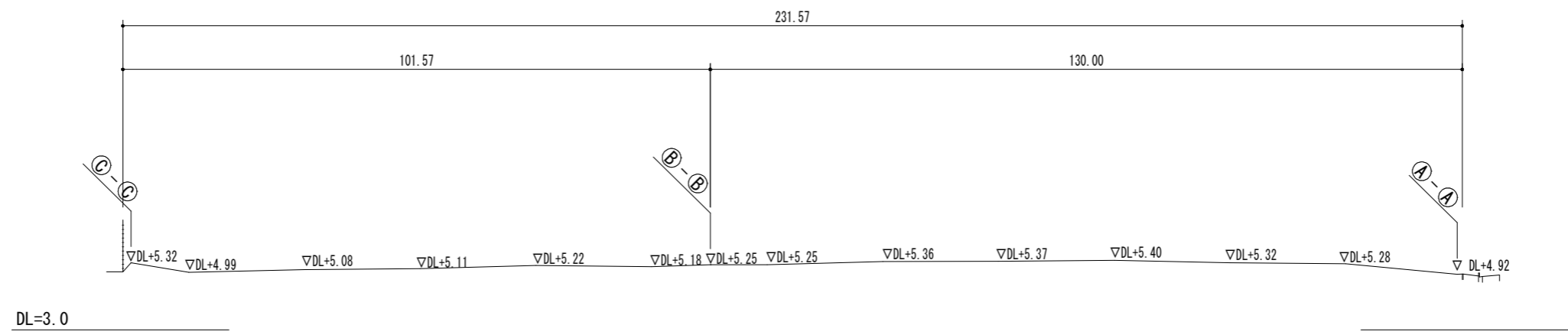
S=1 : 1000

位置図



現況縦断図
(A-2フック)
V=1:200
H=1:1000

①-①



現況横断面図
(A-2ﾌﾟﾛｯｸ) V=1:200
H=1:1000

